

考 試 科 目	專業外文	所 別	台灣文學研究所	考 試 時 間	5 月 21 日(六) 第一節
---------	------	-----	---------	---------	-----------------

壹、專業英文 (50%)

I. Translation (30%)

Please translate the following paragraphs into Chinese.

(1) In the post-martial law era, legislative lobbying became an essential component of feminist strategy in Taiwan. This was in direct contrast to the absence of legislative lobbying in their strategies during the 1970s. Feminist lawyers also contributed to the authorship of draft amendments to family laws, the Domestic Violence Prevention Bill, the Sexual Assault Treatment Employment Act of 2001, the visions of the autonomous women's movements in the 1920s, 1970s, and 1980s for socialized childcare, maternity leaves, and equal opportunities in the workforce became legal provisions.

(2) This article has sought to introduce a historically contextualized notion of subjectivity for the early Soviet period (1917-1941). Contrary to a widespread popular habit to cast the Soviet regime solely as an oppressive power that strove to suppress Soviet citizens' sense of their selves, the article has pointed to the Russian Revolution as a tremendous subjectivizing force. This was because not only of the language of individual and social emancipation which burst on the scene in 1917 and provided people with entirely new records of self-expression. More important was the fact that subjectivity became an intensely political and redeeming category basically from the outset of the Russian Revolution. The questions of who one was, for or against the Russian Revolution, whether one could change, and how one could transform oneself into a revolutionary subject, were central questions of the period of early Soviet rule.

II. Paragraphs Writing (20%)

The goal of a review article of a work (book or article) is to let readers know about what the work is about so that readers can decide whether they want to read the work. In paragraphs of around 120 words, please state your point of views about how to write a proper review article for a published work examining topics of Taiwanese literature.

貳、專業日文 (50%)

一、閱讀下列文章之後，以中文擬出概要，同時寫下短評。(30%)

考 試 科 目 專業外文	所 別 台灣文學研究所	考 試 時 間 5 月 21 日(六) 第一節
--------------	-------------	-------------------------

1. 日本共産党設立の当初、その指導者であった山川均(1880-1958)は、大逆事件以前の時代からの社会主義運動の生き残りの一人で、日本の左翼知識人が労働階級の生活の中にある生きる糧を得るための毎日の努力にもっと共感を持たなければならない、それに自分たちを結びつけなければならないと助言しました。この考え方は、新しい時代を代表する若い大学教授でドイツに留学して共産主義理論を原書で学んできて帰ったばかりの福本和夫(1894-1983)によって否定されました。福本は彼なりのレーニン主義の解釈に基づいて、まず大衆からインテリ知識層が自らを分離し、急進的知識人として理論武装を徹底することが、やがて左翼大衆運動と彼らがより大きな団結をする前の必要条件であると書きました。分離結合理論といわれるこの福本の組織論は当時の社会主義知識人のあいだの勝利を占め、福本を含めて、当時の指導者たちは、その後モスクワに呼ばれ、モスクワ在住の国際共産党指導者たちによってこの福本理論は否定され、そのかわりに国際共産党は、日本共産党に一九二七年テーゼを活動の指針として手渡しました。二七年テーゼは日本の現状を絶対主義的・反封建的な天皇制下にあるものとして、農村地域に反封建的な地主・小作関係が残っている側面を指摘しました。このような状況では、日本ではまっすぐに社会主義革命に向かうという機会は、成熟していない。まず必要なのは、労働者と農民を中心とするブルジョア民主主義革命である。このような革命を通して、天皇制の廃止と封建的地主制の解体が実現されなければならないとしました。

鶴見俊輔「非スターリン化をめざして」『戦時期日本の精神史』(2001[1982]岩波文庫)

2. 台湾人に新しい言語を習得させるのは単純な話ではなかった。彼らは、正字法を持たない、南部沿岸地域の閩語族の多様な方言と粵語群の独特な客家語方言の間でやり取りする多言語の環境に暮らしていた。中国人の入植が始まって以来、主たる表現様式は、中国語の文語表現だったが、これはさまざまな方言で読んだり理解したりできるような純然たる書き言葉で、非常に限られた文脈を除いて、口頭での意思伝達の手段を提供するのではなかった。現地語による文学作品に用いられる格式高い方言としての北京語は、官話として共通語であったが、台湾全土で広く話されていたわけではない。日本の統治時代には、北京語を基盤とする大陸の「白話運動」を奨励する試みと、現地の閩語方言(すなわち台湾語)を正統化する書き言葉の体系開発というそれに対抗する試みがあった。医師として日本語で教育を受け、台湾文学のちちとも言われる頼和をはじめとする作家たちは、中国語でのみ執筆した。

この時代の台湾の言語的アイデンティティは、異なる段階を経て変遷した。占領初期には、中国とのつながりがまだ強く、植民地政府は積極的な言語同化政策を実行していなかったもので、知識階級の大半が好んで用いた言語は、何らかの形で中国語であった。植民地政策が進んで大陸とのつながりが弱まってゆくと、以前よりその土地に暮らしていた民族としてのアイデンティティを改めて強化する「台湾語」と、台頭する帝国への参画を約束する植民地支配の言語「日本語」との間でどちらを選ぶかという葛藤が徐々に広まった。ちょうどこの岐路にさしかかった時期に活躍した、楊逵、張文環、呂赫若といった第二世代の台湾人作家たちの作品は、言語的選択について揺れ動く気持ちを映し出している。

フェー・阮・クリーマン「台湾人が描いた〈帝国〉」『大日本帝国のクレオール』(慶応義塾大学出版会、2007)

考 試 科 目	專業外文	所 別	台灣文學研究所	考 試 時 間	5 月 21 日(六) 第一節
---------	------	-----	---------	---------	-----------------

二、以中文譯出下列文章。(20%)

3. 春杏は皿を洗いながら、台所の薄暗い隅々を真黒な海潮が波音をあげ、気味悪くうねり渦巻いていると思った。天井から吊らされた電燈の黄色っぽい光が紫色に明滅している様に感じながら、自分の立っている地面が両端から円弧を描いて曲がり、自分の足が上になり、頭が下になって一回転してゆくだろうと心の中で思った。ほんとうにぐるぐる廻る様だ。春杏はフラフラと足が宙に浮き上がったと思った。手がだらりとなった。持っていた皿が手から滑り落ちた。そして破片が飛び散った。

巫永福「眠い春杏」『台灣文芸』(1933年2月)

4. 若い公学校訓導の蔡萬欽は、校長のあの迎合的な仕打ちにも腹が立ったが、それよりこの山村の人々の野蛮性をも帯びた馬鹿な抗議、泥棒にも似た行為に対して激しい怒りを感じた。始めは校長にも食ってかかり、問題はたとえ州へ持ち出されても徹頭徹尾それと争う腹を決めたのであったが、興奮が冷めて来ると、自分が無力な小動物のように考えられ、文化に遠い山村の人々が強固な鉄壁をもった人間の激しさに充滿しているようにも思われて、自分が今更のように情けなくなった。

呂赫若「青い服の少女」『台灣藝術』(1940年4月)



備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	台灣文學史	所 別	台灣文學研究所	考 試 時 間	5 月 21 日(六) 第 二 節
---------	-------	-----	---------	---------	-------------------

申論題 (100%)

- 一、對於台灣現代主義文學在文學史上的評價，曾經引起廣泛議論。既有極力貶抑者，也有強力辯護者。就你的理解，褒貶雙方的主要參與者有哪些學者，請你做扼要的敘述。同時，也請陳述你個人對台灣現代主義文學的看法。(30%)
- 二、一九七〇年代發生過新詩論戰與鄉土文學論戰，請你介紹這兩個論戰的主要內容，並且申論對於台灣文學發展的影響。(30%)
- 三、女性文學在一九八〇年代之後臻於盛況，請說明其歷史原因為何？女性作家的主要議題為何？從一九八〇年到二〇一〇年的重要女性作家可謂不計其數，你最熟悉的三位女性作家與作品有哪些，請深入舉例討論。(40%)



考 試 科 目	文學批評	所 別	台灣文學研究所	考 試 時 間	5 月 21 日(六) 第 三 節
---------	------	-----	---------	---------	-------------------

申論題 (100%)

- 一、何謂新批評？其主要內容與精神為何？請敘述新批評對台灣文學產生何種影響。就你所知，在台灣實踐新批評的學者有誰？請舉出三位深入說明，他們的貢獻為何？(30%)
- 二、何謂新歷史主義 (New Historicism)？其主要內容與精神為何？新歷史主義對台灣女性文學的作品與批評有何影響？試舉三個實例詳加說明。(30%)
- 三、何謂後殖民理論 (postcolonialism)？其主要內容與精神為何？請把你讀過的後殖民理論專書或譯書至少介紹兩冊。如果這個理論可以解釋台灣作家，你覺得哪些作家的作品可以使用後殖民的觀點來解釋？(40%)

